

北空知地域の地域医療・介護連携の取組紹介

住み慣れたまちで 安心して暮らすために

医療や介護が必要になっても
住みなれた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。

～その想いをかなえるために支援を行います～



北空知地域医療介護連携支援センター

事務局長 ミツ井 隆博（深川市立病院地域連携室調査員）

これからご紹介する内容は、

1. 北空知地域の紹介及び地域医療・介護の状況

- ・人口、医療・介護サービスの状況

2. 北空知地域医療介護確保推進協議会の設立までの経緯

- ・H26: 地域医療及び介護サービスの提供体制の確保と連携のあり方検討に関する中間報告
- ・H27: 北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協議報告

3. 北空知地域医療介護確保推進協議会と北空知地域医療介護連携支援センターの設置

- ・協議会各会議体の担当事務と構成員 ⇒ 関係機関・団体、多職種で構成
- ・連携支援センターの担当事務と構成員 ⇒ 看護師、社会福祉士、作業療法士、事務職の7名で構成

4. 北空知地域医療介護確保推進協議会の具体的取り組みの紹介

- ・北空知地域入退院支援研修会 ・認知症初期集中支援事業事例共有検討会
- ・北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業
- ・地域包括ケアに携わる多職種合同研修会
- ・在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム ・住民向け講演会等の開催
- ・地域リハビリテーション活動支援事業
- ・北空知介護保険サービス事業所ガイド ・住民啓発パンフ
- ・北空知地域医療介護連携支援センターホームページ など

本日の資料の詳細は
HPに掲載しています

5. まとめ

北空知地域医療連携支援センターホームページ

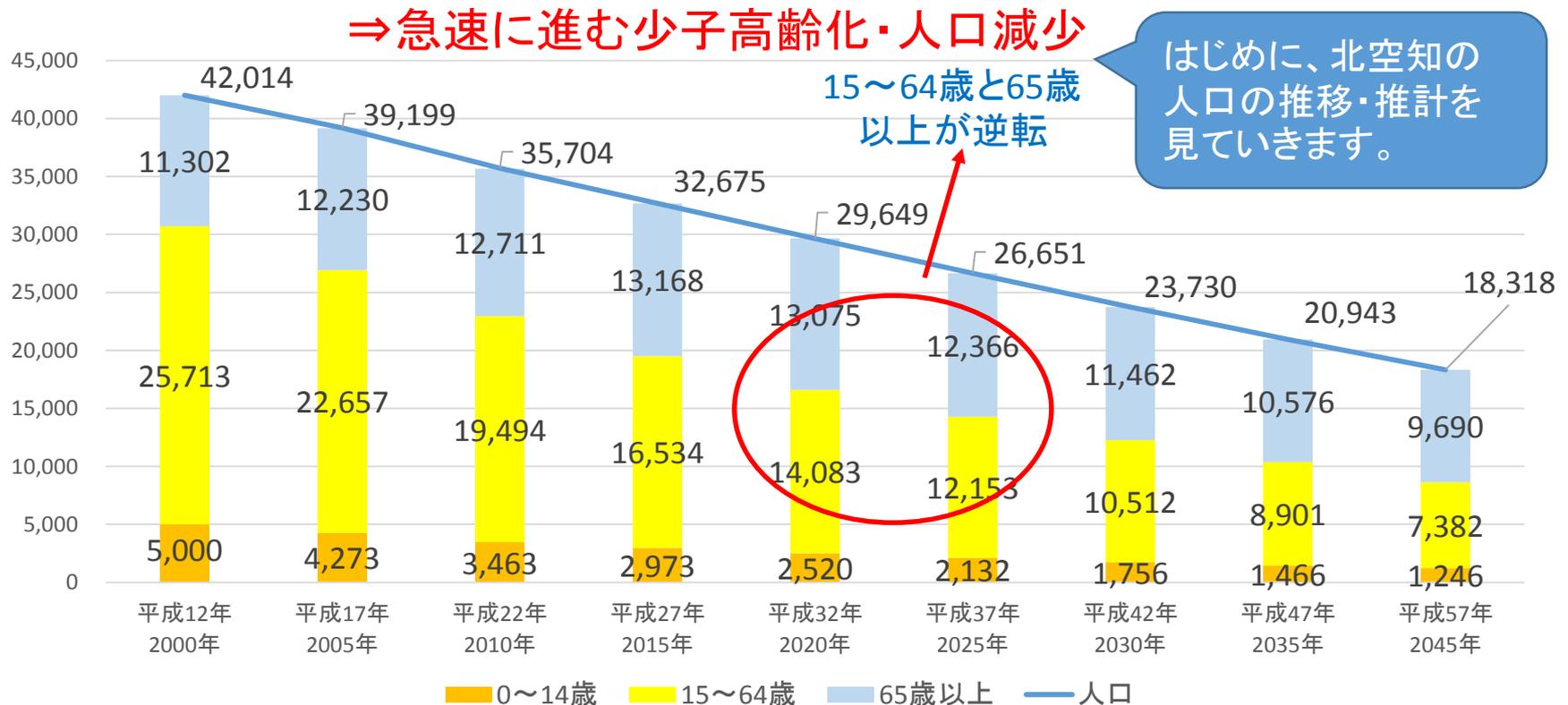
<https://www.city.fukagawa.lg.jp/fukabyo/kitasorachi/index.html>

1. 北空知地域の紹介及び地域医療・介護の状況

北空知の人口の推移

| | 平成12年 2000年 | 平成17年 2005年 | 平成22年 2010年 | 平成27年 2015年 | 平成32年 2020年 | 平成37年 2025年 | 平成42年 2030年 | 平成47年 2035年 | 平成57年 2045年 |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 人口 | 42,014 | 39,199 | 35,704 | 32,675 | 29,649 | 26,651 | 23,730 | 20,943 | 18,318 |
| 0～14歳 | 5,000 | 4,273 | 3,463 | 2,973 | 2,520 | 2,132 | 1,756 | 1,466 | 1,246 |
| 15～64歳 | 25,713 | 22,657 | 19,494 | 16,534 | 14,083 | 12,153 | 10,512 | 8,901 | 7,382 |
| 65歳以上 | 11,302 | 12,230 | 12,711 | 13,168 | 13,075 | 12,366 | 11,462 | 10,576 | 9,690 |

* 2015国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所による集計



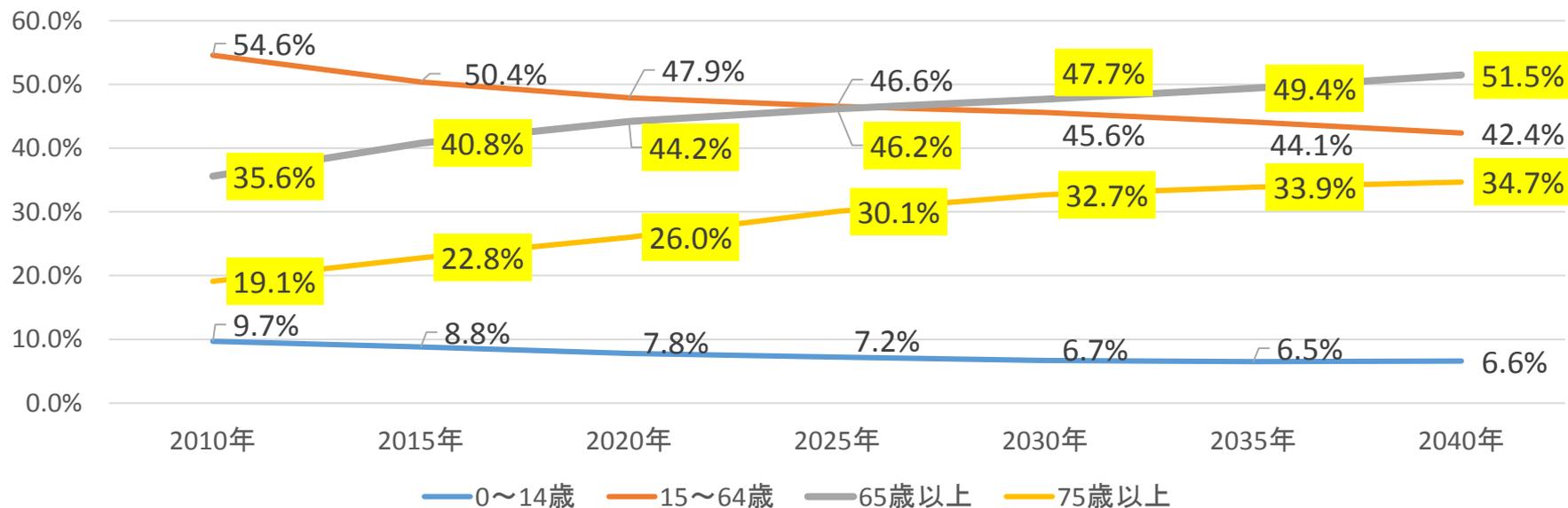
北空知の高齢化率 (2018. 1. 1住民基本台帳)

| 市町名 | 総人口 | 65歳以上人口 | 65歳以上高齢化率 | 全道順位 | 75歳以上人口 | 75歳以上高齢化率 |
|-----------|---------------|---------------|--------------|------|--------------|--------------|
| 深川市 | 21,156 | 8,520 | 40.3% | 38 | 4,691 | 22.2% |
| 妹背牛町 | 2,996 | 1,367 | 45.6% | 9 | 771 | 25.7% |
| 秩父別町 | 2,434 | 997 | 41.0% | 31 | 588 | 24.2% |
| 北竜町 | 1,906 | 826 | 43.3% | 16 | 489 | 25.7% |
| 沼田町 | 3,145 | 1,321 | 42.0% | 25 | 771 | 24.5% |
| 合計 | 31,637 | 13,031 | 41.2% | | 7,310 | 23.1% |
| 北海道 | 5,307,813 | 1,617,164 | 30.5% | | 803,297 | 15.1% |
| 夕張市 | 8,316 | 4,227 | 50.8% | 1 | 2,514 | 30.2% |
| 千歳市 | 96,273 | 21,332 | 22.2% | 179 | 9,943 | 10.3% |

北空知は21圏域
で唯一40%を超え
る高齢化率

75歳以上高齢者
は4人に1人

年齢層別人口割合の推計(2013年社人研:前頁より少し古い)



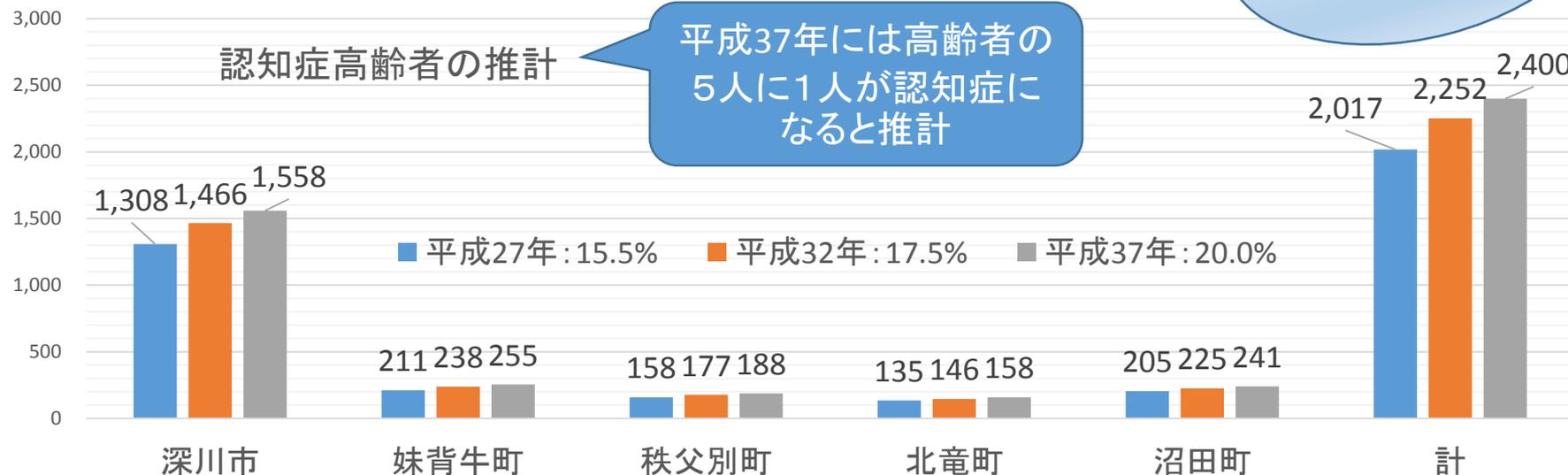
| | | 平成27年 | 平成29年 | 平成32年 | 平成37年 |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 深川市 | 介護認定者数 | 1,610 | 1,592 | 1,553 | 1,447 |
| | 介護認定率 | 19.1% | 18.6% | 18.5% | 18.6% |
| 妹背牛町 | 介護認定者数 | 210 | 231 | 264 | 301 |
| | 介護認定率 | 15.3% | 16.6% | 19.4% | 23.6% |
| 秩父別町 | 介護認定者数 | 172 | 161 | 176 | 185 |
| | 介護認定率 | 17.0% | 16.5% | 18.4% | 20.4% |
| 北竜町 | 介護認定者数 | 124 | 144 | 197 | 224 |
| | 介護認定率 | 14.9% | 17.2% | 23.6% | 28.4% |
| 沼田町 | 介護認定者数 | 223 | 182 | 187 | 187 |
| | 介護認定率 | 17.0% | 13.8% | 14.5% | 15.5% |
| 1市4町の介護認定者数 | | 2,339 | 2,310 | 2,377 | 2,344 |
| 1市4町の介護認定率 | | 18.0% | 17.7% | 18.5% | 19.5% |
| 北海道 | 認定率 | 19.8% | 19.6% | 20.7% | 22.8% |
| 全国 | 認定率 | 18.0% | 18.0% | | |

※各市町介護保険事業計画(H30.3策定)より集計

介護認定者の推計

高齢者人口は減少するが75歳以上人口増加するため認定率は増加傾向

介護予防が重要



北空知の介護サービス事業所の状況

居宅サービスなどすべてが充足しているわけではありませんが……

| 事業所の種類 | 居宅介護支援事業所 | 介護保険施設 | | | 居宅サービス | | | | | | | | 地域密着型サービス | | | | | |
|--------|-----------|-----------|--------|-----------|--------|------|-------------|--------|------|-------------|----------|-------------|-----------|------------|-------------|--------|---------------|-----------|
| | | 特別養護老人ホーム | 老人保健施設 | 介護療養型医療施設 | 訪問介護 | 訪問看護 | 訪問リハビリテーション | 訪問入浴介護 | 通所介護 | 通所リハビリテーション | 短期入所療養介護 | 特定施設入居者生活介護 | 通所介護 | 認知症対応型通所介護 | 小規模多機能型居宅介護 | 共同生活介護 | 認知症対応型入居者生活介護 | 地域密着型特定施設 |
| 深川市 | 8 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | 5 | 2 | 1 | 4 | 1 | 1 |
| | | 150 | 96 | 55 | | | | | 115 | 30 | | 50 | 63 | 24 | 25 | 72 | 29 | |
| 妹背牛町 | 2 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | | | 80 | | | | | | 25 | 15 | | | | | 18 | 9 | | |
| 秩父別町 | 2 | 1 | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | | 80 | | | | | | | 20 | | 15 | | 3 | | 18 | | | |
| 北竜町 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | |
| | | 80 | | | | | | | | | | | 15 | | | 18 | | |
| 沼田町 | 1 | 1 | | | 2 | | | | | | 1 | | 2 | 1 | | 1 | | |
| | | 80 | | | | | | | | | | | 30 | 3 | | 9 | | |
| 合計 | 14 | 5 | 2 | 1 | 6 | 2 | 0 | 1 | 5 | 2 | 6 | 3 | 8 | 4 | 2 | 8 | 1 | 1 |
| | | 390 | 176 | 55 | | | | | 160 | 45 | | 65 | 108 | 30 | 43 | 126 | 29 | |

※事業所数は各市町に所在する事業所です。下段の赤数字は定員です。

減少する医療資源～北空知管内の医療機関の状況（各種調査より）

- ・平成30年4月現在 病院:5施設(公立1)、一般診療所:16施設(公立6施設)うち休止1施設(公立1施設)、
歯科診療所:19施設 (保健所、老健など除く数)
- ・病院数推移……………平成17年: 7施設 ⇒ 平成26年: 5施設 ⇒ 平成30年: 5施設
- ・一般診療所数推移…平成17年:31施設 ⇒ 平成26年:23施設 ⇒ 平成30年:24施設
- ・歯科診療所数推移…平成17年:24施設 ⇒ 平成26年:20施設 ⇒ 平成30年:19施設
- ・病院病床数推移…平成17年:1,458床 ⇒ 平成26年:1,186床 ⇒ 平成29年:1,039床
(H29内訳:一般199 療養407 精神429 感染症4)
⇒ (人口10万対では道の値の約2倍、21圏域で最高)
- ・一般診療所病床数推移…平成17年:90床 ⇒ 平成26年:0床 (H26で0床)
- ・医師数の推移……平成18年:76人 ⇒ 平成26年:63人 △13人 ⇒ 平成28年:59人 △17人
(H27に小児科医3人、産婦人科医1人が減)
- ・歯科医師数の推移…平成18年:31人 ⇒ 平成26年:26人 ⇒ 平成28年:24人
- ・薬剤師数の推移……平成18年:43人 ⇒ 平成26年:38人 ⇒ 平成28年:41人 (病院勤務薬剤師は減)
- ・看護師数の推移……平成18年:297人 ⇒ 平成26年:330人 ⇒ 平成28年:344.3人
- ・准看護師数の推移…平成18年:249人 ⇒ 平成26年:198人 ⇒ 平成28年:227.2人
(正准計 H18:546人 ⇒ H26:528人 ⇒ H28:571.5人)

○乏しい在宅医療サービスの状況（平成26年）

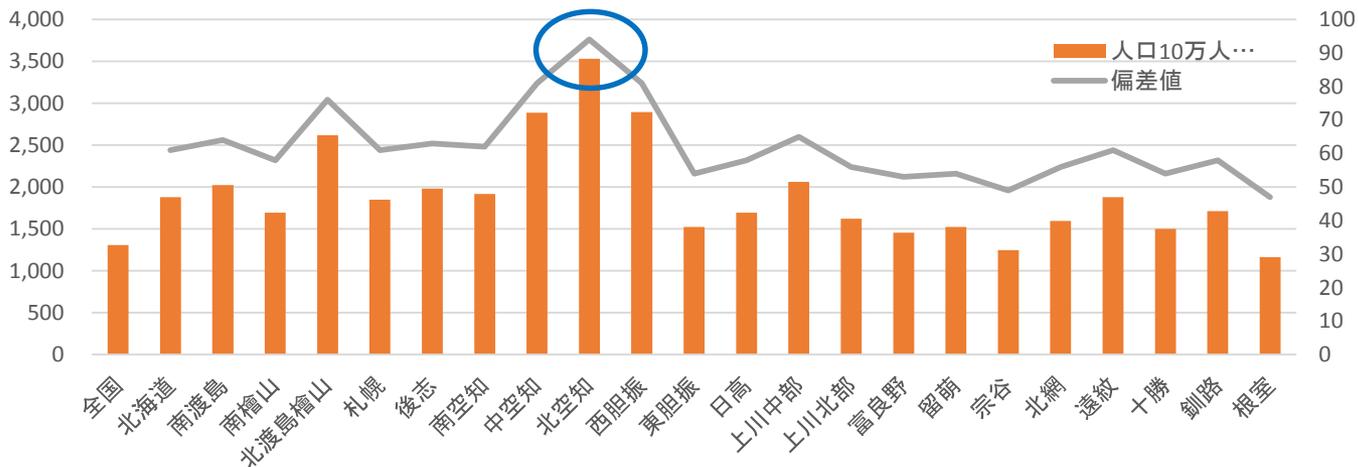
北空知地域では、医療保険等による在宅サービス(往診・訪問診療・看取り)を実施している医療機関は、病院はなく(人口10万人あたり北空知0、全道6.6、全国4.2)、診療所が4施設(北空知14.7、道18.7、国30.3)、歯科診療所が6施設(北空知17.5、道11.6、国11.1)となっており、歯科を除き全道、全国平均を下回っています。

人口比では全道でもっとも多い病床数・介護施設定員数

日医総研ワーキンググループ2012年（平成24年）報告より

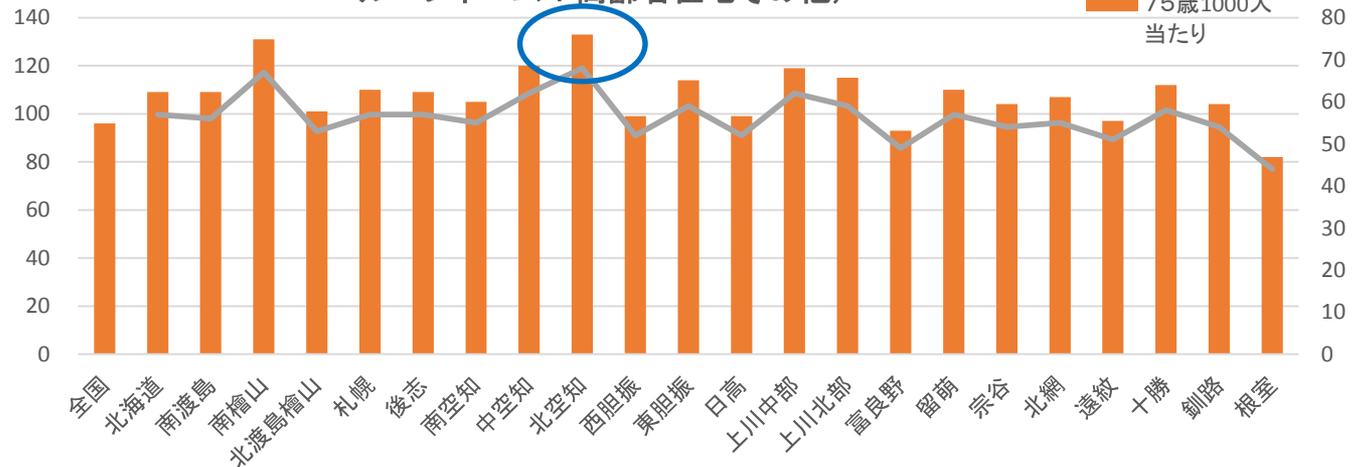
現在は一般病床199、療養407、精神429床で、大幅に減少

道内二次医療圏別 総病床数の状況（一般＋療養＋精神＋感染・結核病床）



- 一般病床は358床で、全国平均を50とした北空知圏域の偏差値は62で北海道の平均偏差値と同じです。
- 療養病床は389床で、偏差値は90（北海道58）で道内1位となっています。
- 精神病床数は509床で、偏差値は105（北海道55）で道内1位となっています。

道内二次医療圏別 総高齢者ベット数（特養＋老健＋有料老人ホーム＋グループホーム＋高齢者住宅その他）



- 特別養護老人ホーム収容数は390人、偏差値は79（北海道50）で道内1位となっています。
- 老人保健施設は170人、偏差値は55（北海道48）で道内3位となっています。
- 有料老人ホームは59人、偏差値は43で北海道の平均偏差値49より低くなっています。
- グループホームは90人、偏差値は53で北海道の平均偏差値65より低くなっています。
- 高齢者住宅は349人で、偏差値は53で北海道の平均偏差値58より低くなっています。

2. 北空知地域医療介護確保推進協議会の設立までの経緯

北空知圏振興協議会民生部会
(地域医療・介護担当課長等会議)
で2年かけて調査研究・検討

少子高齢化と
厳しい財政状況への対応

持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律
(社会保障制度改革プログラム法)
H25.12.13

少子化対策、医療制度、**介護保険制度**、公的年金制度等改革

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律
(医療介護総合確保推進法)
H26.6.25

【効率的かつ質の高い医療提供体制の構築】
病床での機能分化・連携、有床診療所等の役割の位置づけ、在宅医療の推進・介護との連携



【地域包括ケアシステムの構築】
地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の充実
①在宅医療・介護連携の推進
②認知症施策の推進
③地域ケア会議の推進
④生活支援サービスの充実・強化

地域包括ケアシステムの構築

北空知管内における地域医療及び介護サービスの提供体制の確保と連携のあり方について北空知振興協議会民生部会において検討

平成26年10月中間報告

- 【検討項目】
- ①休日夜間急病診療体制の維持・確保
 - ②深川市立病院の経営安定及び医療介護連携機能の整備
 - ③公立(公的)診療所の維持・確保
 - ④在宅医療の提供体制の構築
 - ⑤在宅サービスの確保・充実

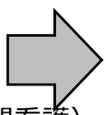
高度急性期から在宅医療・介護までの一連のサービスを地域において総合的に確保することで、地域における適切な医療・介護サービスの提供体制を実現し、患者の早期の社会復帰を進め、住み慣れた地域での継続的な生活が可能となることを目指す。

- 【北空知を圏域とした広域での検討理由】
- ①「在宅医療・介護連携推進事業」に2次医療圏内市町の連携を図る項目があること
 - ②市立病院が北空知圏域における唯一拠点病院の役割を担っていること
 - ③介護施設では1市4町間での相互連携と利用が行なわれていること
 - ④小規模市町では単独での実施は困難であること

平成27年11月報告

※平成27年11月報告以外の項目については新たにできる協議会において協議・検討

1. 在宅医療・介護連携の推進 (⑧)
2. 地域リハビリテーション活動支援事業の構築 (⑦)
3. 認知症施策の推進 (⑨継続検討)
4. 北空知地域医療介護確保推進協議会の設置 (⑧)
5. 市立病院における医療介護連携機能の整備 (②訪問看護)



1市4町からの委託を受け、市立病院に北空知地域医療介護連携支援センターを設置し、「在宅医療・介護連携推進事業」「地域リハビリテーション活動支援事業」を実施

○ 平成26年度 北空知圏振興協議会民生部会の調査研究・検討の経緯

| 開催月日 | テーマ等 | 調査研究・協議内容 |
|---------------------------------|-----------------------|---|
| 平成26年 6月25日(水) 9:30~11:40 | 第1回会議 地域医療の現状(その1) | ①救急医療体制の再整備の進捗状況について ②北空知第2次保健医療福祉圏の概況等について ③深川市立病院の経営状況について |
| 7月15日(火) 15:00~17:00 | 第2回会議 地域医療の現状(その2) | ①4町の診療所の経営状況について ②意見交換 |
| 8月20日(水) 9:30~12:00 | 第3回会議 介護の現状 | ①1市4町の介護サービスの状況について ②意見交換 |
| 10月1日(水) 9:30~12:15 | 第4回会議 意見交換 | ①「北空知圏の地域医療及び介護サービスの提供体制の確保と連携のあり方検討に関する中間報告(骨子案)」について ②福祉・介護人材確保対策実態調査の結果報告(概要)について |
| 10月29日(水) 9:30~11:45 | 第5回会議 中間とりまとめ | ①「北空知圏の地域医療及び介護サービスの提供体制の確保と連携のあり方検討に関する中間報告」の取りまとめについて |

翌年3月の北空知圏振興協議会(市町長会議)に
中間報告を説明し次年度の取組の了解を得る

○ 民生部会構成員

| 市町名 | 役職名 | オブザーバー機関 | 構成員 |
|------|--------------------|----------|----------------------------|
| 深川市 | 健康福祉課長(座長)、高齢者支援課長 | 深川保健所 | 次長 |
| 妹背牛町 | 住民課長、健康福祉課長 | 深川市立病院 | 管理課長 |
| 秩父別町 | 住民課長、地域包括支援センター長 | 深川地区消防組合 | 指令救急課長 |
| 北竜町 | 住民課長、地域包括支援センター長 | 事務局 | 健康福祉課長補佐、 健康福祉課障がい福祉係主査 |
| 沼田町 | 保健福祉課長、地域包括支援センター長 | | |

北空知管内（第2次医療圏）における地域医療及び介護サービスの提供体制の確保と連携のあり方検討に関する中間報告

- 1 はじめに（P 2～3）
 - (1) 検討の経緯
 - (2) 検討の趣旨
 - (3) 検討の視点
- 2 急速に進む少子高齢化・人口減少の問題（P 3～8）
 - (1) 急速に進む人口減少
 - (2) 人口比では全道でもっとも多い病床数・介護施設定員数
 - (3) 今後の医療・介護需要～医療需要は2015年をピークに、介護需要は2025年をピークに減少
- 3 地域医療の現状（P 8～14）
 - (1) 救急医療の現状～管内の医療資源だけでは維持困難な状況に
 - (2) 公立（公的）病院・診療所の現状～今後も厳しくなる経営環境
 - (3) 在宅医療の現状～在宅医療を担う医療機関等は乏しいが半数の医療機関が関心を示す
- 4 介護の現状（P 14～22）
 - (1) 介護保険事業の状況～施設サービスは充実しているが在宅サービスは不十分
 - (2) 介護保険事業の広域連携～地域支援事業等での連携推進
- 5 地域医療・介護の提供体制の確保と連携のあり方（P 23～31）
 - (1) 救急医療に関すること
 - (2) 病院・診療所に関すること
 - (3) 在宅医療に関すること
 - (4) 介護に関すること
 - (5) 医療・福祉・介護人材の確保に関すること
- 6 まとめ（P 32）

調査・研究、検討を行った結果、各市町独自に地域包括ケアシステムを構築していくことは難しく、持続可能な地域医療・介護の提供体制を確保していくためには、1市4町が共同し北空知2次保健福祉医療圏を維持し、保健所や医師会など関係機関等と連携し、北空知圏域における地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべきであるとなった。

○平成27年度 民生部会(地域医療・介護担当課長等会議&事業検討部会)の協議・検討の経緯

| | 開催月日 | 協議テーマ等 |
|-------|-------------------------|---|
| 第1回会議 | 6月24日(水) 9:30~11:45 | ○地域医療及び介護の提供体制の確保と連携方策について ○地域医療構想の策定について |
| 第2回会議 | 7月17日(金) 9:30~11:45 | ○検討課題に係る介護保険制度の学習 ※第2回会議から事業検討部会を兼ね担当者もメンバーとする。 |
| 第3回会議 | 8月20日(木) 13:30~15:45 | ○在宅医療・介護連携推進事業について ○地域リハビリテーション活動支援事業について ○認知症初期集中支援チーム設置事業について |
| 第4回会議 | 9月28日(月) 9:30~12:20 | ○在宅医療・介護連携推進事業について ○地域リハビリテーション活動支援事業について ○認知症初期集中支援チーム設置事業について ○北空知地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定について ○民生部会協議報告の取りまとめについて ○救急あんしんカードの活用について |
| 第5回会議 | 11月11日(水) 9:30~10:45 | ○協議とりまとめ |

H28予算に必要経費計上、
1月~3月事業化準備
3月協定書締結、市町長会議報告

○民生部会構成員

| 市町名 | 構成員 | オブザーバー機関 | 構成員 |
|------|---------------------------------------|----------|---|
| 深川市 | 健康福祉課長(座長)、高齢者支援課長、地域包括支援係長、地域包括支援係主査 | 深川保健所 | 次長、企画総務課主査、企画総務課主査 |
| 妹背牛町 | 住民課長、健康福祉課長、健康福祉課主幹 | 深川市立病院 | 管理課長、地域医療連携室長 管理課・地域医療連室主幹、 管理課課長補佐 |
| 秩父別町 | 住民課長、地域包括支援センター長 | | |
| 北竜町 | 住民課長、地域包括支援センター長、地域包括支援センター主幹 | 事務局:深川市 | 健康福祉課長補佐兼障がい福祉係長 健康福祉課障がい福祉係主査 |
| 沼田町 | 保健福祉課長、地域包括支援センター長 | | |

北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協議報告

北空知圏振興協議会民生部会(地域医療・介護担当課長等会議)では、平成26年度に取りまとめました「北空知管内(第2次医療圏)における地域医療及び介護サービスの提供体制の確保と連携のあり方検討に関する中間報告」に基づき、当面の検討課題として挙げた10項目の課題のうち、介護保険事業の広域連携に係る事業を中心に具体的検討を行い、平成28年度から実施すべき事業等について、下記のとおり取りまとめましたので報告します。

1. 在宅医療・介護連携の推進

- 介護保険制度の地域支援事業に定められた8つの在宅医療・介護連携推進事業について、北空知1市4町の共同事業として、平成28年度から深川市立病院に委託する方法で実施すべきものとの協議となりました。

2. 介護予防の機能強化～地域リハビリテーション活動支援事業の構築

- 介護保険制度の地域支援事業に定められた地域リハビリテーション活動支援事業について、北空知1市4町の共同事業として、平成28年度から深川市立病院に委託する方法で実施すべきものとの協議となりました。

3. 認知症施策の推進～認知症初期集中支援チームの設置

- 介護保険制度の地域支援事業に定められた認知症初期集中支援チーム設置事業について、北空知1市4町の共同事業として、平成29年度から事業開始できるように、認知症専門職(医師及び福祉系・医療系の専門職)の確保や専門職の研修、管内の連携体制の整備など、引き続き関係機関・団体と協議し検討していくこととなりました。

4. 関係機関・団体の連携体制の構築～(仮称)北空知地域医療介護確保推進協議会の設置

- 1～3の共同事業のほか、救急医療を含めた地域医療・介護の提供体制の確保と連携について、継続的に協議及び推進する組織が必要であり、また、道(深川保健所)から市町主体への取り組みに変更される事業(北空知圏域在宅医療推進ネットワーク協議会)を継承する必要もあることから、1の共同事業の一環として、平成28年度に「(仮称)北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置すべきものとの協議となりました。

5. 深川市立病院における医療介護連携機能の整備

- 中間報告による検討要請を受け、深川市立病院では平成27年10月から訪問看護事業を開始しましたので、今後、訪問看護事業の安定化と充実を図るために連携・協力するとともに、訪問リハビリテーション事業などの在宅療養者への支援について引き継ぎ検討していくこととなりました。

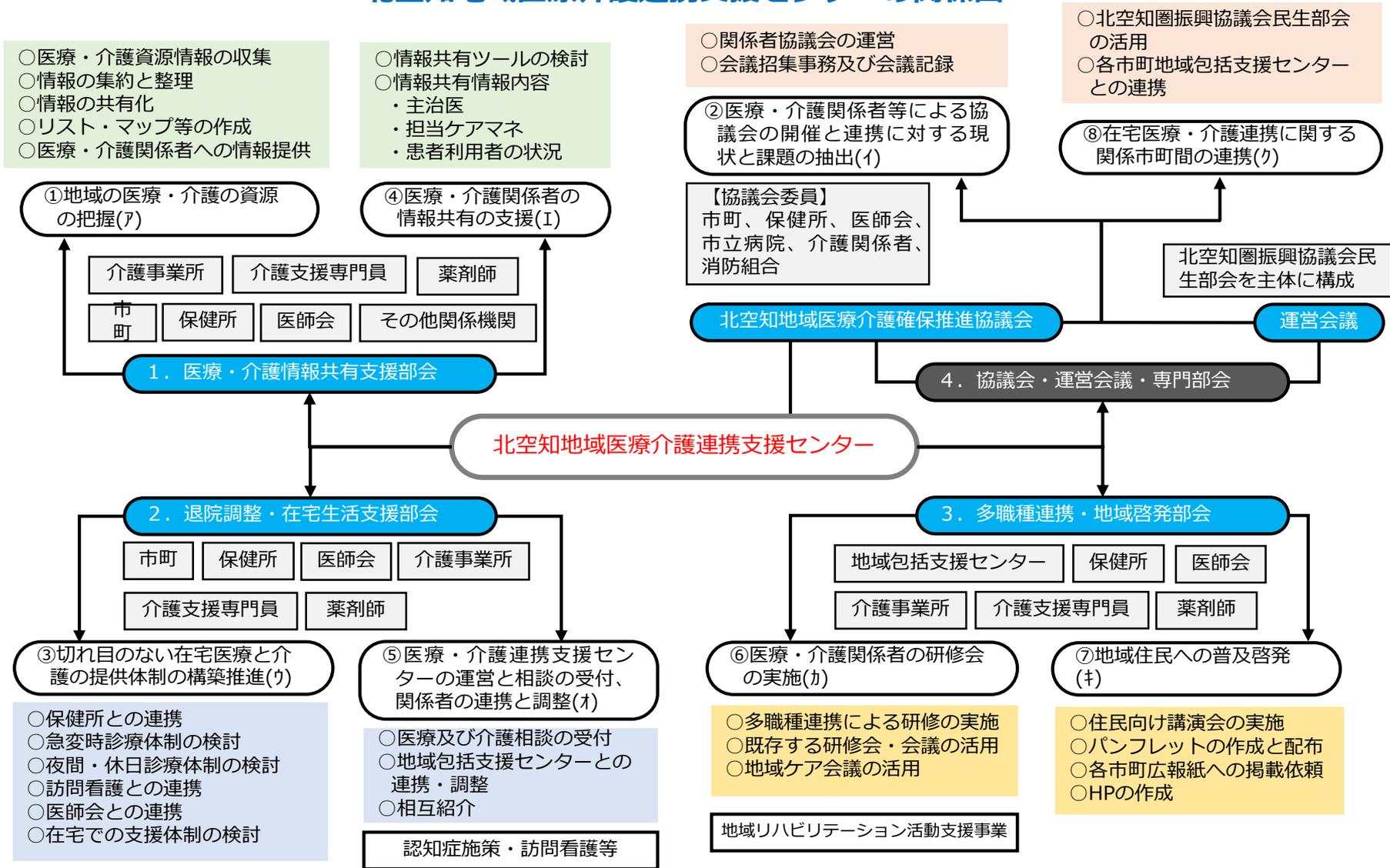
平成27年11月11日

北空知圏振興協議会民生部会(地域医療・介護担当課長等会議)

報告書全44ページ
に取りまとめ

3. 北空知地域医療介護確保推進協議会と北空知地域医療介護連携支援センターの設置

在宅医療・介護連携推進事業における北空知地域医療介護確保推進協議会と北空知地域医療介護連携支援センターの関係図



北空知地域医療介護確保推進協議会

1. 設置目的

北空知1市4町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町）間で、平成28年3月18日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」（以下「協定」という。）に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体で構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

2. 協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (1) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (2) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (3) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (4) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (5) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

3. 開催

協議会の定期開催は6月を予定し、その他必要に応じて開催することとします。

4. 協議会構成員（平成30年4月～平成31年3月）

| 役職 | 構成員 | 備考 |
|-------------------|------------------|----------|
| 会長 | 深川市長 | |
| 副会長 | 深川医師会長 | 深川第一病院院長 |
| 委員 | 妹背牛町長 | |
| | 秩父別町長 | |
| | 北竜町長 | |
| | 沼田町長 | |
| | 深川保健所長 | |
| | 深川市立病院長 | |
| | 深川地区消防組合消防長 | |
| | 社会福祉法人揺籃会理事長 | 2年任期 |
| | 社会福祉法人北海道中央病院理事長 | 2年任期 |
| 北空知介護支援専門員連絡協議会会長 | 2年任期 第一病院院長 | |

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

1. 設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

2. 協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (5) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (6) 認知症対策事業の検討
- (7) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (8) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (9) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (10) 専門部会の連絡調整

3. 開催

運営会議は四半期に1回程度の頻度で開催します。また、必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整します。

4. 運営会議構成員（平成30年4月～平成31年3月）

| 役職 | 構成員 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------|
| 座長 | 深川市高齢者支援課長 | |
| 副座長 | 深川保健所次長 | |
| 委員 | 深川医師会事務長 | |
| | 深川市立病院事務部長 | |
| | 社会福祉法人揺籃会理事 | 2年任期 清祥園 |
| | 社会福祉法人北海道中央病院理事 | 2年任期 アニスティ深川 |
| | 北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長 | 2年任期 老健りぶれ |
| | 深川地区消防組合深川消防署指令救急課長 | |
| | 妹背牛町住民課長 | |
| | 妹背牛町健康福祉課長 | |
| | 秩父別町住民課長 | |
| | 北竜町住民課長 | |
| | 北竜町地域包括支援センター長 | |
| | 沼田町保健福祉課長 | |
| | 深川市健康福祉課長 | |

I 医療・介護情報共有支援部会

1. 医療・介護情報共有支援部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①「北空知介護保険サービス事業所ガイドブック」の内容を基本に、医療情報（病院・歯科・調剤）を加えたガイドブックの作成
- ②ガイドブックの内容を、北空知地域医療介護連携支援センターホームページ等で公開
- ③ガイドブックの関係機関への配布と住民等への周知

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①医療・介護連携情報共有シートの作成
- ②情報共有ツールの導入検討～ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）等の活用等

2. 部会構成員（平成30年4月～平成31年3月）

| 役 職 | 構 成 員 | 備 考 |
|-------|--------------------------|---------------|
| 部 会 長 | 秩父別町住民課主幹 地域包括支援センター長 | 2年交代（H30～H31） |
| 副部会長 | 深川医師会副会長 | 吉本病院理事長 |
| 委 員 | 北空知歯科医会長 | 伊東歯科医院院長 |
| | 北海道薬剤師会北空知支部 深川部会 | 北海道中央病院薬局長 |
| | 北空知介護支援専門員連絡 協議会 | 深川市社会福祉協議会 |
| | 北空知区域内介護事業所 | 沼田町社会福祉協議会 |
| | 深川保健所企画総務課 企画主幹 | |
| | 妹背牛町健康福祉課主査 | |
| | 北竜町地域包括支援センター 介護予防係長 | |
| | 沼田町保健福祉課福祉 グループ主査 | |
| 事務局員 | 深川市立病院地域連携室 地域連携係主査 | |
| | 深川市立病院地域連携室 地域連携係調査員 | |

II 退院調整・在宅生活支援部会

1. 退院調整・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討
- 急変時診療体制の検討
 - 夜間・休日診療体制の検討
 - 在宅での支援体制の検討
 - 認知症施策の検討

(2) 医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

- ①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営
- ②相談コーディネーター（看護師、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員など実務経験を有する人材）の配置
- ③各市町地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する事項の相談の受付
（地域住民からの相談は各市町の地域包括支援センターが行うが、直接センターへの相談も受け付ける）
- ④退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整
- ⑤訪問看護等在宅サービスとの連携・調整
- ⑥認知症初期集中支援事業の連携・調整

2. 部会構成員（平成30年4月～平成31年3月）

| 役 職 | 所属団体・役職 | 備 考 |
|-------|------------------------------|---------------|
| 部 会 長 | 妹背牛町健康福祉課長 | 2年交代(H30～H31) |
| 副部長 | 深川保健所企画総務課企画主幹 | |
| 委 員 | 深川医師会副議長 | 児島医院 院長 |
| | 北海道薬剤師会北空知支部 深川部会 | なの花薬局 |
| | 北空知介護支援専門員連絡協議会 | 居宅清祥園 |
| | 北空知区域内介護事業所 | 深川地域訪看所長 |
| | 北空知区域内介護事業所 | 居宅りぶれ |
| | 深川地区消防組合深川消防署 指令救急課救急救助係長 | |
| | 深川保健所企画総務課主査 | |
| | 秩父別町住民課住民福祉グループ主査 | |
| | 北竜町地域包括支援センター 介護予防係 | |
| | 沼田町保健福祉課福祉グループ 主査 | |
| | 深川市健康福祉課障がい福祉係長 | |
| | 深川市高齢者支援課 地域包括支援係 | |
| 事務局員 | 深川市立病院地域連携室室長 | |
| | 深川市立病院地域連携室副室長 | |
| | 深川市立病院地域連携室主任 | |
| | 深川市立病院地域連携室調査員 | |

Ⅲ 多職種連携・地域啓発部会

1. 多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ① 深川保健所による多職種合同研修会の引き継ぎと事業実施
- ② 医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・ 関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・ 各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ③ 地域リハビリテーション活動支援事業の活用

(2) 地域住民への普及啓発

- ① 在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・ 保健所または各市町での事業等を活用することとし、具体的な実施内容及び役割分担等について検討
 - ・ 高齢者虐待の未然防止や早期発見への啓発事業の実施検討
- ② 在宅医療や介護に関する内容の各市町広報誌やホームページへの掲載依頼

2. 部会構成員（平成30年4月～平成31年3月）

| 役 職 | 所属団体・役職 | 備 考 |
|-------|----------------------------|---------------|
| 部 会 長 | 北竜町地域包括支援センター主幹 兼保健指導係長 | 2年交代（H30～H31） |
| 副部会長 | 北空知介護支援専門員連絡協議会 | 幸鐘会 |
| 委 員 | 深川医師会理事 | |
| | 北空知歯科医会長 | 伊東歯科医院院長 |
| | 北海道薬剤師会北空知支部 深川部会 | 深川市立病院薬剤課 |
| | 北空知区域内介護事業所 | GH碧水 管理者 |
| | 深川市介護者と共に歩む会会長 | |
| | 深川保健所企画総務課主査 | |
| | 妹背牛町健康福祉課主査 | |
| | 秩父別町住民課保健師 | |
| | 沼田町地域包括支援センター （介護支援専門員） | |
| 事務局員 | 深川市高齢者支援課 地域包括支援係長 | |
| | 深川市立病院地域連携室 地域連携係係長 | |
| | 深川市立病院地域連携室 地域連携係主査 | |
| | 深川市立病院地域連携室 地域連携係調査員 | |

北空知地域医療介護連携支援センター体制

運営会議事務局

| 役 職 | 所属団体・役職 | 担 当 |
|---------|-------------------------------|---|
| センター長 | 深川市立病院副院長 (医師) | センター業務統括 |
| センター長代理 | 深川市立病院事務部長 (事務) | センター長の職務代理 |
| 副センター長 | 深川市立病院地域連携室長 (看護師) | 運営会議 退院調整・在宅生活支援部会 |
| 事務局長 | 深川市立病院地域連携室地域連携係調査員 (事務) | 運営会議及び専門部会の運営調整、地域リハビリテーション活動支援事業等の進行調整 |
| 事務局次長 | 深川市立病院地域連携室副室長 (看護師) | 退院調整・在宅生活支援部会 |
| 事務局員 | 深川市立病院地域連携室地域連携係長 (看護師) | 多職種連携・地域啓発部会 |
| | 深川市立病院地域連携室地域連携係主査 (作業療法士) | 多職種連携・地域啓発部会、地域リハビリテーション活動支援事業 |
| | 深川市立病院地域連携室地域連携係主査 (社会福祉士) | 運営会議 医療・介護情報共有支援部会 |
| | 深川市立病院地域連携室地域連携係主任 (看護師) | 退院調整・在宅生活支援部会 |

(1) 業務内容

- ①協議会の招集、議事録の整理
- ②運営会議の招集、議事録の整理
- ③機関紙の発行～協議会会議内容、各部会での取組状況などを掲載

(2) 事務局体制

深川市立病院事務部地域連携室に「北空知地域医療介護連携支援センター」を設置し、運営会議の事務局を担う。

また、当事務局に行政及び関係団体等との調整のため市町行政の担当者を加えることができるものとする。

| 所属団体・役職等 | | 備 考 |
|-------------------|---------------------|----------------|
| 北空知地域医療介護連携支援センター | 深川市立病院地域連携室室長 | 副センター長 |
| | 深川市立病院地域連携室地域連携係調査員 | 事務局長 |
| | 深川市立病院地域連携室地域連携係長 | 事務局員 |
| | 深川市立病院地域連携室地域連携係主査 | 事務局員 |
| 市町行政部局 | 沼田町保健福祉課主幹 | 2年交代 (H30～H31) |
| | 深川市高齢者支援課課長補佐 | |
| | 深川市健康福祉課主幹 | |

4. 北空知地域医療介護確保推進協議会の具体的取り組みの紹介

- ・北空知地域入退院支援研修会
- ・北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業
- ・在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム
- ・住民向け講演会等開催
- ・北空知介護保険サービス事業所ガイド
- ・在宅医療・介護に関するアンケート調査
- ・認知症初期集中支援事業事例共有検討会
- ・地域包括ケアに携わる多職種合同研修会
- ・住民啓発パンフ（2種類発行）
- ・地域リハビリテーション活動支援事業
- ・北空知地域医療介護連携支援センターホームページ

などなど

実質の立ち上げ事業で
申込200名超あった

| 年度 | 開催日・場所 | 事業名 | 内 容 | 備 考 |
|--------|---|---------------------------------------|---|-----------------------|
| 平成28年度 | 11月18日(金) 18:00～19:30 プラザホテル板倉 | 北空知地域医療 介護確保推進の ための多職種合 同研修会 | ○講 演 参加者187名 ・北空知における地域包括ケアシステムの構築について ・在宅医療・介護連携推進事業の効果的な展開について 厚生労働省医療介護連携技術推進官 秋野憲一氏 ○交流会 参加者121名 | 北空知ケア マネ連協との 共催 |
| 平成29年度 | 10月14日(土) 17:00～19:30 深川市経済セ ンター | 地域包括ケアに 携わる多職種合 同研修会 | 参加者108名 ○講演「多職種連携を深めて見えてきたこと～CCLの活動紹介」 講師: 釧路のCCL(本音で地域連携の在り方を検討する会)の メンバー3人(医師・薬剤師・MSW) ○グループワーク「本人・家族への支援で必要なこと」 | 北海道看護 協会等との 共催 |
| | 12月2日(土) 13:30～16:00 深川市経済セ ンター | 在宅療養を考え る北空知地域住 民フォーラム | 参加者135名 ○演劇「なかよし老人」 妹背牛町民劇団 ○在宅療養で使えるサービスの紹介 支援センター・訪看ステ ○意見交換 | 北海道看護 協会等との 共催 |
| | 11月3日(金) 9:00～12:00 深川市立病院 | 第1回北空知地 域入退院支援研 修会 | 参加者89名 ○報告、講演、グループ討議、全体会 ・講師 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子氏 | 深川保健所 との共催 |
| | 3月16日(金) 18:00～20:00 深川市立病院 | 第1回北空知地 域入退院支援研 修会 | 参加者91名 ○リレー事例検討、事例共有、グループ討議、全体共有 ・コーディネーター 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子氏 | 深川保健所 との共催 |

「北空知地域の連携の見える化」

～本人や家族を支えるために今の自分が北空知地域でできること・できたらいいこと～

「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」(H29.10.14)において、14グループでグループワークを実施。出席者は北空知地域の支援関係者等105名。北空知地域の支援者が考える本人・家族への支援に必要なことを話し合い、その結果をカテゴリー別に分け図式化したもの。

北空知地域医療介護確保推進協議会
「多職種連携・地域啓発部会」作成

専門職として、在宅への介入を
(薬剤師・PT・OT・管理栄養士等)
・居宅療養管理指導
・外に出てアクティブに
・介入が当たり前のことに
・すぐに相談できる体制

退院時の在宅支援の充実を
・他職種のカンファレンス
・自宅訪問
・運動や生活指導
・在宅生活を想定した生活援助・指導
・専門職が在宅の場へ介入

地域づくり
・地域住民が互いに顔の見える関係を築く機会を多くし、普段から会話をする場を増やす
・生活支援を町内会単位で協力し合う体制をつくる
・男性が役立つ・活躍する機会・場が欲しい(生きがいがづくり)
・地域単位での見守り隊や電話相談を行う

看取りが地域でできるような体制構築へ
・可能になる環境整備
・ひとりさみしく死なないように
・在宅での看取り
・施設での看取り

地域と施設
施設内で地域の方々が交流する機会
(レクレーション大会・料理教室など)をつくる

ボランティアなど地域での支援
・短時間でも誰かが声掛けに行く

行政として
・住民の声をフィードバックし、住みやすい地域をつくる。
・支え合いづくりを啓発し、自主的な活動を後方支援していく

「あったらいいな」「増えたらいいな」と思う社会資源
・24時間訪問介護、介護職増員、訪問診療、訪問リハビリ
・認知症の療養環境、在宅歯科診療、ケアマネ増員
・年中無休のデイサービス
・融通の利く施設入所(ショートステイ)

サービス
入院中
(在宅に向けた支援)



連携
入院時
(目標設定など)
退院後
(在宅生活支援)

多職種合同研修会
サービス担当者会議
お互いの顔が見える関係づくり
・住民の方に寄り添った関わりをするため
・入退院や転院の際の密な情報共有
・急変時やちょっとした変化の情報共有
・困った時に他の専門職種と相談

住民の方に在宅医療や認知症などの知識を周知し、理解が深め病気や老いと付き合っていけるようにしたい。

住民の方に介護サービスや相談機関、また、その目的や利用方法、役割について広める。

周知

健康管理・介護予防について、住民の方が主体的に取り組めるように支援する。

多職種が参加できる研修会を企画し、顔が見える関係が作れるようにしたい。

スキルアップ

連携のためのシステム作り
・情報共有できる場の構築
・統一した情報を共有できるシステム
・迅速に情報を得る事が出来るシステム

多職種での情報共有・発信

入退院支援のスキルアップ

施設間交流

出前講座・アウトリーチ

学ぶ

専門職としてのスキルアップ

地域ケア会議の活用・充実

H29合同研修会
GWのまとめ

平成30年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種研修事業等

| 開催日・場所 | 事業名 | 内 容 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|
| 9月21日(金) 16:30～19:00 北竜町 | 第1回 認知症初期集中支援事業事例共有検討会 | 認知症初期集中支援事業に係る関係市町及び関係機関の専門職等による学習会。第1回は、北竜町の初期集中支援チームの事例を共有検討。 参加者23名 |
| 9月28日(金) 18:15～20:00 深川市立病院 | 第1回 入退院支援研修会 | 入退院支援調整に係る病院・介護・福祉関係者の連携を深める研修会。第1回は、病院・看護師からの事例をグループワークにより検討。今年度から北空知地域入退院支援・調整ルールの普及促進に取り組む。 参加者103名 |
| 10月20日(土) 13:30～16:00 妹背牛町 | 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛 | 在宅医療と介護について地域住民に考えてもらう地域啓発事業。関係市町持ち回りで、講演会や研修会など地域の実情に応じて企画。今年度は妹背牛町で開催、講師は北星学園大学の杉岡直人先生。 参加者97名 |
| 10月31日(水) 18:00～21:30 プラザホテル板倉 | 地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 | 地域包括ケアに携わる関係者の交流研修会。今年度は顔の見える多職種連携ツール「ケア・カフェ」を学び体験交流(意見交換) 講師は「ケア・カフェ」の手法を開発したケア・カフェジャパン代表の阿部泰之先生(旭川医科大学病院医師)。研修会終了後、飲みニケーション交流会を開催。事業は北空知介護支援専門員連絡協議会との共催で実施。 参加者121名、交流会46名 |
| 11月30日(金) 18:15～19:50 深川市立病院 | 第2回 入退院支援研修会 | 入退院支援調整に係る病院・介護・福祉関係者の連携を深める研修会。第2回は、地域・ケアマネジャーからの事例をグループワークにより検討。 参加者83名 |
| 2月1日(金) 18:00～19:40 深川市 | 地域リハ活動支援事業事例共有検討会 | 居宅介護支援専門員スキルアップ研修会として、地域リハビリテーション活動支援事業3年間の成果と課題を報告し、事例をグループワークで共有検討。事業は北空知介護支援専門員連絡協議会との共催で実施。 参加者29名 |
| 2月8日(金) 18:00～19:40 深川市 | 第2回 認知症初期集中支援事業事例共有検討会 | 認知症初期集中支援事業に係る関係市町及び関係機関の専門職等による学習会。第2回は、深川市の初期集中支援チームの事例を共有検討。 参加者26名 |
| 2月18日(月) 18:00～ 深川市 | 多職種連携ツール導入調査研究会 | ICTを活用した多職種連携(地域連携)ツールの導入について、システム提供事業者の提案を聞く調査研究会を開催。 参加者20名 |

このようなことはありませんか？

～その方の状況に応じ、医療保険や介護保険でサービスをご利用できます～

おうちのお風呂に 入れなくなった

- ・ デイサービスやデイケアへ行って、お風呂に入るのが出来ず、ヘルパーが来て、手伝ってくれます
- ・ 自宅のお風呂に手すりや椅子（福祉用具）を用いることで入れることもあります



病院へひとりでご利用できない

- ・ 移送サービスやタクシー等を利用して、ヘルパーが介助します
- ・ 公共交通機関等を使い、生活・介護支援サポーター等の活用も出来ます



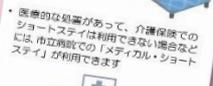
足腰が弱って、動きにくくなった

- ・ デイケアやデイサービスへ行って運動しましょう
- ・ 杖や車いす（福祉用具）を活用しましょう
- ・ 自宅の廊下や玄関等に手すりを取り付けましょう（住宅改修）



家族が数日間不在になるけど ひとりでは 家に居られない

- ・ 介護保険施設等にお願いして、単身の訪問介護を受けることができます（ショートステイ）
- ・ 医療的ケア等があるため、介護保険でのショートステイは利用できない場合など「メディカル・ショートステイ」が利用できます



家事ができなくなってきた

- ・ 買い物、調理、掃除等をヘルパーがお手伝いします



住民啓発パンフレット (A4版観音折8P) 北空知介護支援専門員連絡 協議会との協働で作成

住み慣れたまちで 安心して暮らすために

医療や介護が必要になっても
住み慣れた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい
～その想いをかなえるために、あなたの在宅生活を支えます～



保存版

北空知における地域包括ケアシステムの構築を目指して

北空知では、1市4町と地域医療・介護に係る関係機関・団体が、地域医療及び介護サービスの総合的な提供体制の確保と連携を推進するため、新たに「北空知地域医療介護確保推進協議会」を組織し、様々な取り組みを協議しています。
また、その連携体制づくりの拠点として、深川市立病院内に「北空知地域医療介護連携支援センター」を設置し、在宅医療・介護の連携推進事業などの広域事業を実施し、北空知における地域包括ケアシステムの構築を目指しています。
このパンフレットは、皆様の在宅生活を支える北空知地域の様々な取り組みを知っていただくために作成しましたので、ご覧ください。

発行 北空知地域医療介護確保推進協議会
監修 北空知介護支援専門員連絡協議会

平成29年の春に北空知
1市4町に全戸配付
15,000部

～誰もが希望する療養生活を選択でき、 安心して暮らせる北空知地域にするために～

支えあいの輪を作ろう！



見守り

隣近所と交流し良好なコミュニケーションを！
♪日ごろから、お互い助け合う近所づきあいを！
♪少しの気配り、見守りが在宅生活を支えます！「隣のオバちゃん、今日も電気がついてるかな？」「新聞、牛乳、郵便物はたまっていないかな？」など♪
♪牛乳、郵便物はたまっていないかな？「買ったて買ってほしいものはない？」「ついでだからゴミ出し手伝うわよ」「作りすぎたから食べて・・・」など

- 地域に広がる
支えあい
- ・ 町内会・老人クラブ・婦人会の活動
 - ・ 社会福祉協議会の活動
 - ・ 介護予防ふれあいサロン（交流の場）の開催
 - ・ 小地域ネットワークの活動

生活相談

困った時には抱え込まず相談を！
♪在宅介護・介護保険の相談はお住まいのまちの地域包括支援センターへ
♪相談できる人はいますか？知っておきましょう
♪身近な人・家族、親戚、友人など
♪近くの人・民生委員、町内会長さんなど
♪各種相談（市町・社会福祉協議会など）

支えあいのための 人材が育成されています



- ・ 生活・介護支援サポーターやボランティアの育成
- ・ 認知症サポーターの養成
- ・ 市民後見人の養成

緊急時の備え

普段から対応策を考えておきましょう！

- ♪ 病気・けがの場合・かかりつけ医、救急車
- ♪ 在宅療養者の状態急変の場合・訪問看護、救急車、往診医
- ♪ 介護者が過剰に介護できなくなった場合・ケアマネジャー
- ♪ 緊急通報システムの設定
- ♪ 救急あんしんカードの準備
- ♪ 災害時要援護者避難支援（見守り）プランの作成



支えあいの組織があります

- ・ 地域見守りネットワーク
- ・ 認知症見守りネットワーク（SOSネットワーク）
- ・ 深川市認知症ケア研究会
- ・ 介護者と共に歩む会
- ・ すまいるサロン（がんサロン・深川市立病院）など

～我が家で健康に過ごすために～

できることは自分でしよう

- ・ 他人に頼るのではなく「自分のことは自分で！」を実践しましょう
- ・ 「人並みに」ではなく「自分並みに」できることを続けていきましょう
- ・ 家庭や地域の中で自分の役割を担いましょう



体を動かそう

- ・ ねたきりは、動かない・閉じこもりから避けられます
- ・ 体を動かすと気分転換が図れ、ストレス解消になります
- ・ 先ずは興味のあるものに参加してみよう
- ・ ・ ・ ・ ・ 長続きの相談は仲間と一緒に楽しみながら行うことが大切です！
- ・ ・ ・ ・ ・ 各都市町介護予防の教室がありますので、お問い合わせください



年に1回、健康診断を受けよう

- ・ 異常の有無のチェック！ 病気の早期発見につながります
- ・ 指導、注意を受けた場合は必ず守り、生活習慣病の予防に努めましょう
- ・ 太り過ぎ、内臓脂肪の蓄積はねたきへの赤信号となります。ご注意ください



きちんと食事をとろう

- ・ 3食規則正しくバランスよく～体と心の1日のリズムを作るうえで大切なことです
- ・ 欠食をしない～食が進まない時は、小分けにして食べましょう
- ・ 家族や仲間と一緒に楽しく食事を取りましょう



病気へのそなえ・・・

- ・ かかりつけ医を持ちましょう・・・受診記録も蓄積されて、的確な診療が受けられます
- ・ 掛け持ち受診はやめましょう！薬が重なり、副作用を起こす可能性があります
- ・ 食欲、排泄、血圧等の健康チェックの記録は診断の際、大いに役立ちます
- ・ 自分の体をよく知る事も大切！日頃の体調管理は緊急時の対応に役立ちます
- ・ 緊急時以外はむやみに救急車を利用するのはやめましょう
- ・ また、日ごろから緊急時の対応について、家族や関係者と話し合っておきましょう

在宅療養の相談

主治医（かかりつけ医）



地域包括支援センター

北空知地域医療介護連携支援センター (深川市立病院地域連携室内) ☎ 0164-38-2200

| 深川市 | 妹背牛町 | 秩父別町 | 北電町 | 沼田町 |
|--|--|--|--|--|
| 深川市地域包括支援センター <small>(深川市健康福祉センター1階)</small> <small>深川市幸手町1丁目1番1号</small> <small>☎ 0164-26-2606</small> | 妹背牛町地域包括支援センター <small>(妹背牛町健康福祉センター1階)</small> <small>妹背牛町幸手町2丁目200番地</small> <small>☎ 0164-32-2411</small> | 秩父別町地域包括支援センター <small>(秩父別町健康福祉センター1階)</small> <small>秩父別町4丁目10番地</small> <small>☎ 0164-33-2111</small> | 北電町地域包括支援センター <small>(北電町健康福祉センター1階)</small> <small>北電町幸手町1丁目1番1号</small> <small>☎ 0164-34-2727</small> | 沼田町地域包括支援センター <small>(沼田町健康福祉センター1階)</small> <small>沼田町幸手町3丁目1番1号</small> <small>☎ 0164-35-2120</small> |

北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業 H29年度に検討し、30年8月から実施

様式3は、病院がほしい情報として作成したが、ケアマネの事業所で使用している情報提供様式にない追加情報のみを記載する方式とした

※お使いの情報提供様式に記載がない情報については、下記様式に記載して添付してください！

追加してほしい情報提供項目（ケアマネジャー⇒医療機関）

利用者(患者) / 家族の同意に基づき、利用者情報(身体・生活機能など)の情報を提供します。

| | | |
|--|-------|--|
| 利用者(患者) / 家族の同意に基づき、利用者情報(身体・生活機能など)の情報を提供します。 | 電話番号 | |
| | FAX番号 | |

[担当ケアマネジャーから医療機関の方へお願い]

退院が決まり次第、連絡をお願いします
 退院前訪問指導を実施するときは、同行させてください
 必要に応じて、退院時の情報提供をお願いします
 その他[]

1. 利用者(患者)基本情報について

| | | | | | | |
|----------------------|---|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|---|---|
| 患者氏名 | 生年月日 | 男・大・婦・平 | 年 | 月 | 日 | 生 |
| 住所 | 年齢 | 歳 | 性別 | 男 | 女 | |
| 住環境(施設も含む) | 電話 | | | | | |
| 入院時の要介護度 | <input type="checkbox"/> 要支援() | <input type="checkbox"/> 要介護() | <input type="checkbox"/> 申請中 | <input type="checkbox"/> 未申請 | | |
| 利用している介護保険サービスの内容及回数 | 例) デイサービス/通/週、訪問看護/通/週、訪問介護/通/週等 | | | | | |
| 医学的管理の状況 | 例) 胃薬/夜カテーテルの導/カテーテル置換交換日、時間交換日、例) 挿入しているか等 | | | | | |
| 認知症状の有無等 | 認知症状 | <input type="checkbox"/> あり | <input type="checkbox"/> なし | | | |
| その他対応で注意が必要な事項 | 例) 耳の聞こえが悪いので会話するときは大きな声でゆっくりと話す | | | | | |

2. 家族の情報について

| | | | | | |
|------------|-----------------------------|-----------------------------|----------|----------|----------|
| 家族構成(内服管理) | <input type="checkbox"/> 独居 | <input type="checkbox"/> 同居 | 介護(要/不要) | 介護(要/不要) | 介護(要/不要) |
| 主たる介護者 | (氏名・続柄・年齢) | | | | |
| 金銭的援助者 | (氏名・続柄・年齢) | | | | |

様式3の2枚目は添付省略

以下の項目がある

3. リハビリに関する本人/家族の意向について(ケアプラン立案時)
4. 入院前のADL
5. 今後の方向性(暮らす場所や延命措置など話しあったことがあれば含めて)

(様式1)

様

利用者・ご家族の方へ 担当ケアマネジャーから「5つのお願い」

利用者の方に、切れ目のないケアサービスを提供し、安心した療養生活を送って頂くために、担当ケアマネジャーから、以下の点についてお願い致します。

もしも、利用者さまが入院された場合は・・・

- 1 病院へは「保険証/お薬手帳/介護保険証/救急あんしんカード」を持参して下さい
- 2 急な入院の場合、出来るだけ早く、担当ケアマネジャーに連絡を下さい
また、あらかじめ入院の予定が決まっている場合は、事前にお知らせ下さい
- 3 病院へは「担当ケアマネジャー」がいることをお知らせ下さい
(担当ケアマネジャーの「氏名」や「連絡先」など)

病院から何か説明があった場合は・・・

- 4 利用者さまが退院後、すみやかに自宅での療養生活が始められるよう準備を進めるために、「今、どんな状況か」を早めに知りたいので、病院からの説明内容は担当ケアマネジャーにも教えて下さい
(特に、「病状」や「退院のめど」)

家に帰る準備をするために、病院をお願いして欲しいこと

- 5 退院のめどが見えてきたら、担当ケアマネジャーを病院へ呼んで下さるよう、ご家族からも病院をお願いして下さい

(名刺を貼るか下記の事項を記入しましょう！)

事業所名: ()
 担当ケアマネジャー名: ()
 連絡先: ()

北空知地域入退院支援・調整ルール版

(様式2)

救急あんしんカード (平成 年 月 日作成)

この情報は、医療のために救急隊と搬送先医療機関が活用するとともに、介護保険サービスのために、入院先医療機関と介護支援専門員等が活用します。

| | | | |
|-------|------|-------|----------------------|
| 氏名 | 生年月日 | (男・女) | 1.総合支援事業 |
| 住所 | 自宅電話 | 携帯電話 | 2.要支援(I・II) |
| 緊急連絡先 | 名前 | 続柄 | 3.要介護(I・II・III・IV・V) |

| | | | |
|---------|----------------------|----------------------------|----|
| かかりつけ | 施設名・事業所名 市町名・保健所名 | 診療科及び主治医名 ケアマネジャー名・保健師名 | 電話 |
| 病院 | | | |
| 薬局 | | | |
| 介護支援事業所 | | | |
| 担当保健師 | | | |

| | |
|-----------------|----------------------------|
| 治療中の病名 | ふだん飲んでいる薬 |
| 手術した病名(病名、病状) | |
| アレルギー(薬・食物) | |
| 特記事項(あてはまる□に○を) | ※薬の説明書をこのカードと一緒に保管しておきましょう |

北空知地域医療介護推進協議会・深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町

在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛の開催報告

～ いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？ どう送りたいですか？ ～

- ・日時 平成30年10月20日(土) 13:30～16:00
- ・場所 妹背牛町 わかち愛もせうしひろば (JA北いぶき妹背牛支所)
- ・参加者 97名 (妹背牛町63名、深川市20名、秩父別町2名、北竜町7名、沼田町2名、その他3名、うち一般63名、支援関係者34名)



北空知地域医療介護連携支援センター、深川地域訪問看護ステーションから取組紹介



講演「地域包括ケアシステムの構築を目指して」
講師 北星学園大学教授 杉岡直人さん

支えあうコミュニティ

② 社会参加・予防・生活支援

- 「就労」という分かち合いの経済とボランティアで多世代がつながるまちづくりへ
- =健康寿命延伸～元気高齢者(アクティブシニア)、高齢者就労、認知症予防、リハビリ
- 地域包括ケアの深化・地域共生社会の実現
- =地域の支え合い、ボランティア、買い物、サロン、安否確認、24時間365日の見守り体制

北空知地域の在宅医療・介護の取組紹介

住み慣れたまちで 安心して暮らすために

医療や介護が必要になっても
住み慣れた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。
～その想いをかなえるために支援を行います～



1市4町を巡回開催、
次年度は北竜町で開催

北空知地域医療介護連携支援センター

命の詩

- 命は神秘的で天命がある
- 今生きている時間 使い方はその人しだい
- 命は尊く限られたもの
- 自分から捨ててはいけない
他人から奪ってもいけないもの
- 命は生み育むもの 受け継いでいくもの
- 若く健康なときには永遠に続くと思いき
老いまたは病いの時は限りあるものとする
- 命 護り尊ぶ

深川地域訪問看護ステーション一同

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会の開催報告

～ 「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ ～

- ・平成30年10月31日(水) 18:00～21:30
- ・プラザホテル板倉
- ・参加者 研修会:121名 交流会:46名

看護職39名、介護支援専門員25名、保健師10名、ヘルパー10名、MSW・SW・相談員9名、事務職7名、リハビリ職6名、医師5名、薬剤師3名、歯科医師2名、管理栄養士1名、精神保健福祉士1名、歯科衛生士1名、その他2名



感想:時間があっという間に過ぎて楽しかった、知りたい情報も得られ良かった

模造紙には何を書いても(描いても)OK いたずら書きも可



感想:様々な職種の方の様々な話を聞いて、とても楽しかった

講演会とケア・カフェの違い



従来の講演会

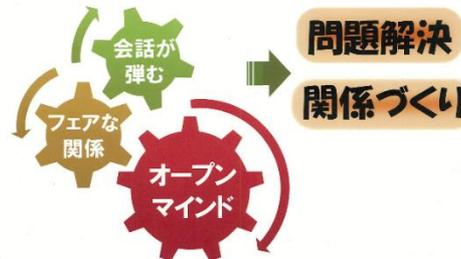
- ✓ 情報は講師が握っている
- ✓ 記憶に残らない
- ✓ 質問がしづらい
- ✓ 「今」困っていることは解決されない
- ✓ 会場の意見は反映されない
- ✓ 横の繋がりはできない

ケア・カフェ



- ✓ いろいろな情報が得られる
- ✓ 知識が身に付きやすい
- ✓ どんなことも聞ける
- ✓ 「今」困っていることが解決される
- ✓ 新たな発見が生まれる
- ✓ 顔の見える関係ができる

「カフェ」の効用



ケア☺カフェの進め方



第2回北空知地域入退院支援研修会 11月30日 市立病院

- ・ 11月30日(金) 18:15~19:50 ・ 深川市立病院 2階会議室
- ・ 参加者 82名 (看護職34名、介護支援専門員28名、MSW・SW・相談員7名、リハビリ職1名、保健師8名、ヘルパー1名、事務職3名)
- ・ 研修目的 医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築く
- ・ 研修目標 ①北空知地域の支援関係者が本人や家庭の思いに添った入退院支援ができるようになる
②入退院支援をしていく上で、医療関係者と地域支援関係者がタイムリーな情報交換ができるようになる

事例紹介

「在宅環境に問題のある方の在宅復帰」

「ゴミで溢れている」「お風呂がない」
「ガスがない」「買物にいけない」
「家族の協力もない」

このような状況の方を
食事、衛生、健康、環境の面から
どのような支援をしますか

GWは各テーブル5人、
15グループで実施



グループ発表はインタビュー形式で
話し合いの1例を紹介、スタッフが
板書し共有しました。

事例紹介はケアマネ
の〇〇さん



話し合った事を模
造紙に自由に記載

9G

- (1) タイムリーな情報共有について
・ 入院中に既に共有はできていたと思いが、退院して本人同僚とどう事ができたかは... 外泊等で仕事の整理
・ 本人家族の意向確認できていた
・ 本人の生活状況は、入院時点で把握できていたのは早い!!
- (2) 移行支援について
・ 本人家族の意向の妥当性の判断がむづかしい
・ 退院時点での移行支援の目的がたっていない
・ 家族(長男)の取り込みが必要
・ 再発の可能性と予防
・ 経済的問題
- (3) 必要な支援
・ 配食サービス 安否確認
・ 在宅復帰を目指すための施設利用
・ デイサービスでの入浴機会確保

多職種、様々な意見を聞いて勉強になった。
困難事例検討はとても勉強になった。

本人の在宅の代わりに、家？自由？
・ 自由な生活を希望しているなら、自由を確保できる施設も提案できる。
・ 長男以外のキーパーソン(知人、友人) 28

北空知地域リハビリテーション活動支援事業

- ① **個別訪問**～関係スタッフと一緒に同行訪問し、ADL・IADLの自立支援に向けた助言
- ② **通所訪問**～事業所等にて、対象者のADL・IADL自立に向けた関わりについて助言
- ③ **地域ケア会議(担当者会議)**～事例検討・地域課題の発掘・施策に向けてリハ視点で参画
- ④ **地域予防事業**～サロン・老人クラブ等にて、体操の紹介・ミニ講座・体力測定等を行い、介護予防・健康への意識を高める
- ⑤ **研修会**～看護・介護スタッフへ「リハビリテーション視点での関わり方」等の研修会を開催

| 年度 | 深川市 | 妹背牛町 | 秩父別町 | 北竜町 | 沼田町 | 合計 |
|--------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|--------------|
| 平成28年度 | 71 | 30 | 36 | 43 | 29 | 209 |
| 平成29年度 | 104 (+33) | 43 (+13) | 73 (+37) | 44 (+1) | 43 (+14) | 307 (+98) |

介護予防体操「ライス
パワー体操」を市立病
院リハビリスタッフで
考案しました



市立病院のリハ職(作業療法士)
が専任で担当、地域包括の要望
に応じて各市町へ派遣

5. まとめ(成果と課題)

1. 在宅医療・介護連携推進事業（委託料：1,094万円〔人件・車両・事業・事務費等〕）

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握（担当：医療・介護情報共有支援部会）

- ・介護保険事業所、医療機関、見守り・生活支援サービス等の社会資源を把握調査し、ホームページに掲載
- ・ガイドブックなどの印刷物は、作成費用、情報更新が課題となり保留

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討（担当：運営会議）

- ・協議会設立前のH26、H27に民生部会（地域医療・介護担当課長等会議）で課題の抽出と対応策を検討
- ・協議会設立後は、各専門部会で対応策を検討し事業等を実施
- ・担当する運営会議（市町担当課長・施設長等会議）の開催が年2回に止まっているため、全体の進捗・評価や、課題・対応策の見直しなどの検討が不足気味

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進（担当：退院支援・地域生活支援部会）

- ・協議会設立後の検討とした認知症施策は、認知症初期集中支援事業の広域実施体制を構築（サポート医養成、看護職員派遣、事例共有検討会）
- ・市立病院で、民生部会での関係市町から検討要請を受け、H28年7月から訪問看護、メディカルショートステイを開始、さらにH30年2月から地域包括ケア病棟（H29）を開設
- ・地域の医師不足など医療資源が乏しく、訪問診療など在宅医療サービスの構築は難しいため、広域連携による救急医療体制の確保（市立病院、医師会、圏域外協力医師）、入退院支援を課題にした医療・介護関係者の研修を通じて連携づくりを推進
- ・人口減少・人手不足の中で、医療・介護の担い手の維持・確保が大きな課題

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援（担当：医療・介護情報共有支援部会）

- ・情報共有ツールとして、救急あんしんカードの普及促進、H30年8月から「北空知地域入退院支援・調整ルール」試行事業を実施
- ・課題としているICT活用をした連携システムの調査検討は進んでいない。
そのほか、お薬手帳の普及啓発と連携シートとしての活用を検討課題に

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援（担当：退院支援・地域生活支援部会）

- ・地域医療・介護の連携拠点として、管内唯一の中核病院である市立病院（地域連携室）内に「北空知地域医療連携支援センター」を設置、協議会の事務局を担い、医療・介護関係者との「顔の見える」関係づくりに努めているほか、関係市町の地域ケア会議に参加するなどし、相談支援体制を整備
- ・地域連携室の職員体制の確保、関係機関・事業所との役割分担と連携、関係者間の共通理解（温度差・意識の違い）、力量アップが課題

（カ）医療・介護関係者の研修（担当：多職種連携・地域生活支援部会）

- ・多職種合同研修会を年1回開催し、毎年100名以上が参加
担当部会が異なるが、入退院支援をテーマにH29からは入退院支援研修会を年2回開催、いずれも関係者の研修ニーズは高く、参加者の満足度は高い。
- ・年1回の開催から、複数回の開催と気軽に集まれる場づくりが今後の課題
- ・予定していた市町単位の研修は、地域ケア会議での地域リハビリテーション活動支援事業の報告研修、関係団体を対象とした研修は、北空知介護支援専門員連絡協議会との多職種合同研修会、地域リハの報告研修を開催、さらにニーズに対応にした多様な開催が課題
- ・関係機関・団体の研修会・講演会の把握と情報提供は、把握・発信体制の構築に至っていない。

（キ）地域住民への普及啓発（担当：多職種連携・地域生活支援部会）

- ・住民啓発パンフレット「住み慣れたまちで安心して暮らすために」を作成し、関係市町全戸に配付するとともに、関係市町の窓口で配付
- ・在宅医療・介護を考える地域住民フォーラムをH29年度から関係市町持ち回りで開催
- ・予定していた関係市町での地域講演会等の複数回開催は、地域住民向け研修会・講演会の講師派遣として実施、講師等の協力者の確保、メニューの拡大が課題

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携（担当：運営会議）

- ・協議会各会議体の構成員には関係市町および関係機関・団体が参加（専門部会の委員等は任期、定員はなく柔軟に運営）、各会議体の会議や担当事業の実施を通じて連携
- ・連携支援センターを市立病院内に置くことで、日常的な相談支援業務で関係市町と連携
- ・運営会議（関係市町）の開催（4半期1回）が計画どおり出来ていないのが課題

2. 地域リハビリテーション活動支援事業（委託料：932万円〔人件・車両・事務費等〕）

- ・通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、サロンなど住民運営の通いの場等へのリハビリ専門職の関与を促進することにより、エビデンスのある介護予防、地域リハビリテーションの考え方が普及
- ・訪問リハビリテーション事業所がないことによる訪問での利用が多いこと、通所介護事業所での利用が少ないこと、自立支援型ケアプランなどが課題 ⇒ 通所介護事業所向け研修会、介護支援専門員向け研修会
- ・専任の作業療法士のための派遣 ⇒ 担当者の育成・複数化、理学療法士、言語聴覚士の職種拡大
- ・訪問リハビリテーション事業所の開設

最後に

- 北空知の市民・住民が医療や介護を必要とする状態になっても、
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るようになるため、
患者・利用者の尊厳を守り、希望を叶えるサービスの提供と支援、そして地域づくりへ

北空知の地域医療・介護の関係者は、「**チーム北空知**」となって、
地域包括ケアシステムを構築をして行こう！

「利用者」のための専門職に加え「地域」のための専門職へ



1. 関係者は、「北空知地域医療介護連携支援センター（深川市立病院）」を
連携拠点に、**顔の見える関係**を築き、多職種協働によるチーム支援に取り組もう。
「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ進化
2. 関係者は、「北空知地域医療介護確保推進協議会」の各種会議で大いに議論し、
医療及び介護サービスを持続的に提供できる地域づくりに取り組もう。
専門性の向上、団塊世代に選択される施設・事業所づくり、そして支えあう地域づくりへ

ご清聴ありがとうございました